



2021 年度春季全国大会イブニングフォーラム開催報告

全国大会イベント担当 久保 貴寛(岩手県工業技術センター)・

田中 大輝(東芝エネルギーシステムズ)・本間 祐太(日本製鋼所 M&E)・松田 朋己(大阪大学)

Report of WELNET Evening Forum at JWS National Meeting in Spring 2021
by KUBO Takahiro, TANAKA Daiki, HONMA Yuta, and MATSUDA Tomoki

【概要】

4月15日(木)、2021年度春季全国大会において若手会員の会イブニングフォーラムが開催されました。今回は「技術マッチングポスターセッション」について、産学官にてご活躍中の7名の若手研究者・技術者の方々にご講演いただきました。

プログラム：

1. 開会の挨拶 溶接学会若手会員の会委員長
大阪大学 庄司 博人 氏
2. 講演者によるショートプレゼンテーション
3. リアルタイムオンラインポスターセッション
「住友重機械における溶接工程改善に向けたニーズ」
住友重機械工業(株) 笠野 和輝 氏
「ホワイトボックス予測モデル構築が可能な機械学習技術の開発と適用事例」 物質・材料研究機構 北野 萌一 氏
大阪工業大学 伊與田 宗慶 氏
「高融点・活性金属の接合に関する技術シーズとニーズの紹介」 岩手県工業技術センター 久保 貴寛 氏
「発電設備を対象とした補修技術開発の課題とニーズ」
東芝エネルギーシステムズ(株) 田中 大輝 氏
「クラッド鋼管の溶接施工効率の向上と品質確保」
日本製鋼所 M&E(株) 本間 祐太 氏
「異種材料接合部の微視組織・特性評価」
大阪大学 松田 朋己 氏
「溶接高温割れ現象の理解・モデル化とその対策」
大阪大学 山下 正太郎 氏

4. 全体での意見交換

今回、オンラインでインタラクティブなコミュニケーションを行うことが可能なシステムを活用して、リアルタイムでのオンラインポスターセッションを行いました。研究者ならびに技術者では考え方の違いによってシーズ・ニーズには少なからず溝がありますが、本ポスターセッションでは、各々の研究者・技術者のシーズ・ニーズ発表に対して、研究者ならびに技術者ならびに意見や技術者ならびに意見を気兼ねなく出し合えるような雰囲気での議論が行われました。その後の全体での意見交換においても、このようなオンラインでのセッション開催やその他イベントなどについて活発な議論が行われ、当初の予定時間を超過した頃に本イブニングフォーラムは無事終了となりました。昨今の社会情勢だからこそリアルタイムでのポスターセッションは非常に有意義で、イブニングフォーラムに限らず、他の様々なイベントにも活用できることを実感いたしました。

最後に、今回のフォーラムは若手会員に加えて一般参加者の方々にもご参加頂き、大盛況の内に終えることができました。講演を快くお引き受けくださいました7名のご発表者の皆様方に心より御礼申し上げますとともに、ご参加者の皆様にも厚くお礼を申し上げます。

若手会員の会運営委員会 全国大会イベント担当
松田朋己、久保貴寛、本間祐太、田中大輝

以上